

光を北方から

令和6年度学校だより第2号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 野本 雅明

令和6年7月24日

いよいよ夏休み

教頭 千葉 秀輝

令和5年11月22日に夏の記録的な暑さを受けて、道教育委員会は道立高校や特別支援学校などの休暇に関する規則を改正し、夏休みを延長できるよう、年間の休暇日数を増やすことを正式に決めました。道教育委員会は「熱中症の危険を回避するため、夏季休業を延長することで子どもたちの命を守る」と説明しています。

本校においても今年の夏休みから夏季休業が延長されています。また、各教室内には窓枠エアコン等が設置され、学校における熱中症対策ガイドラインなどを確認しながら、学校現場における熱中症対策の推進を行っています。

夏休みを楽しみにしている幼児児童生徒にとっては、夏休みが延長されて嬉しい反面、熱中症などには十分に気を付けていかなければならず、手放しには喜べないかもしれません。本当に自然環境とは想像を超えてきます。北海道の夏がこんなにも暑くなるとは思っていませんでした。

さて、夏休みの話題について触れてきましたが、なぜ夏休みがあるのでしょうか。

学校の夏休み（夏季休業）についてですが、この長期休業期間は今から100年以上も前に文部省が初めて「夏季休業」について言及した、明治14年（1881）の「小学校教則綱領」の第7条においてです。そこには『小学校ニ於テハ日曜日、夏季冬季休業日及大祭日、祝日等ヲ除クノ外授業スヘキモノトス』という文言があります。訳すと「小学校においては日曜日、夏季冬季休業日及び大祭日、祝日等を除くのほか授業をすべきものとする。」と定められていました。こんなに前からあることに驚きです。

現在の夏休みの本質と重要性については夏休みが単なる休息期間を超える多くの機能を持っています。起源は農業社会にさかのぼり、子どもたちが家族の手伝いをするための実用的な理由から始まりました。しかし、時代が進むにつれて、夏休みは教育的な機会の場合としても、心身のリフレッシュを促す重要な期間としても位置づけられるようになりました。夏休みを利用して新たな技能を学び、家族との絆を深め、個人の成長を促す機会としても非常に価値があります。この休暇を通じて、子どもたちは学校外での学びを体験し、社会的スキルや自立心を育みます。また、色々とお忙しい中ではありますが、保護者の方も、子どもたちとの関係を強化し、共に新しい体験をする貴重な時間を持つことができるのではないのでしょうか。

夏休みは、教育的探求だけでなく、心身の健康と家族の幸福に寄与する重要な役割を果たしていると思います。この夏休みを有意義に過ごすことで、2学期からの学びを頑張るためのエネルギーを再充電することができると思います。

7月25日（木）から8月26日（月）までの長い夏休みになります。交通事故や水難事故、感染症や熱中症、SNSなどに気をつけて下さい。夏休みに対しては、様々なお考えがあるかもしれませんが、どうぞ有意義な夏休みをお過ごしください。また、2学期に子どもたちが元気な姿で登校してきてくれるのを楽しみにしています。

学校関係者の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、1学期の間、本校教育活動にご理解・ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

幼小学部遠足

幼小学部は6月21日（金）に「もりもりパーク」と「北彩都ガーデン」に行ってきました。今年度、初めての校外学習で福祉バスにも乗りました。もりもりパークでは、ボールプールに入ったり、木の遊具を登ったりしながら体をたくさん動かして遊びました。また、おやつもみんなと一緒に食べて楽しい時間を過ごしました。北彩都ガーデンでは、蒸気機関車を模したガーデン号に乗ってゆっくり揺られながら旭川駅南広場から北彩都ガーデンの間を巡ってきました。様々な体験をして、とても充実した遠足を過ごすことができました。来年はどこに出かけるのか楽しみです。



小学部宿泊研修

小学部5年生1名で、7月11日(木)から12日(金)の1泊2日で宿泊研修に行ってきました。1日目は、旭川駅からノロッコ号に乗って美瑛駅まで行きました。念願のノロッコ号に乗ることができ、ガタンゴトン、ガタンゴトンと言う音を聞いて楽しんでいました。宿泊先の大雪青少年交流の家では、アロマキャンドル作りを体験しました。自分の好きなにおいを決めて世界に一つだけのオリジナルキャンドルが完成しました。2日目は、朝起きて他の団体さんと一緒にラジオ体操をしました。朝食を食べ、バスに乗って旭川駅へ行きました。学校のお友達へのお土産を買い、味噌ラーメンを食べて学校に帰ってきました。天候にも恵まれた2日間、様々な経験を通して学校生活に生かしてほしいと思います。



中学部宿泊研修

中学部2年生3名で、7月4日(木)から5日(金)の1泊2日で宿泊研修に行ってきました。路線バスや鉄道を使って移動し、深川市の「アグリ工房あぶ」のコテージで2日間を過ごしました。1日目は、旭川市科学館サイパルに行きました。「錯覚の部屋」や「ムーンジャンプ」を体験したり、「内蔵パズル」に触ったりしました。深川駅に到着してから夕食、朝食の材料を買う活動を行いました。その食材を使ってコテージでカレーライスと野菜炒めを作りました。完食しました。2日目は、米粉シフォンケーキ作りの体験を行い、材料の分量を量ってボールに入れたり、泡立て器で混ぜたりしてできあがりを楽しみにしました。試食では、美味しくて全部食べてしまいました。天候に恵まれた2日間、様々な活動や経験を通して今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



中学部見学旅行

6月27日(木)から28日(金)の1泊2日で札幌方面に見学旅行に行ってきました。天候にも恵まれて行くことができました。1日目は札幌芸術の森、2日目はFビレッジに行きました。エスコンフィールドはナイターゲームの実施日で人が多かったのですが、映えスポットで写真も撮ることができました。今回は初めて乗る地下鉄や、昨年度から練習していたエレベーターや公共交通機関に乗るなど、今までの学習の成果を発揮することができました。



幼小学部の様子

今年の幼小学部は、幼稚部2名、小学部5名の計7名で学習を行っています。1学期の前半では、新1年生は学級中心の活動が多かったのですが、少しずつ他の学年と一緒に活動の場面も増えてきています。

先日は全員一緒に幼稚部前の芝生で「水遊び」を行いました。水鉄砲や水風船コーナーでは、友達や先生を探して当てに行ったり、足湯ならぬ足水コーナーでは、思わず足を引っ込めたりする様子も見られました。また用意した複数のたらいでは友達に水をかけたり、全身浸かって豪快に遊んだりする姿も見られ、たくさんの笑顔や笑い声が飛び交っていました。

今後も子ども達同士の関わりを大切にしながら、「またやってみたい」と思える学習活動に取り組んでいきたいと考えます。



中学部の様子

1学期は、運動会を終え、3年生は見学旅行、2年生は宿泊研修の事前学習が始まり、行事当日を経て、一気に駆け抜けてきた感じがします。そのような中から中学部の様子について紹介したいと思います。始めに外国語です。外国語では、ALTのピーター先生と一緒に授業を行う日があります。先日のALT来校の日には、キョクモウ・バーガーというハンバーガー屋を設定し、英会話でメニューを注文して支払いをする買い物学習をしました。英会話は、台本を見ながらですが、うまく買ったり、店員さんになって対応したりする体験を通して、楽しく英語を学習しています。チキンナゲットが人気です。

次に、交流及び共同学習についての紹介です。中学部では、昨年からは、鹿児島県立盲学校とオンラインでの交流を行っています。創始者の南雲先生が作った2つの盲学校というつながりがスタートです。鹿児島盲学校からは、職業体験で、“しまむら”や“マクドナルド”等で就業体験、本校からは見学旅行と宿泊研修について報告をしました。好きなラーメンの話題などで盛り上がり、鹿児島盲の生徒たちからは、北海道に行ってみたくなったという感想をいただきました。お互い離れた地域に暮らしていますが、それぞれの特色を生かして、今後も楽しく交流できることを期待しています。今後も、生徒一人一人のペースにあわせて、楽しく学習できる環境作りに取り組んでいきたいと思っています。



寄宿舎

寄宿舎の余暇活動としてアウルの会とランランタイムがあります。

アウルの会ではボランティアさんが絵本の読み語りをしてくれます。子ども達からは読んでほしい絵本のリクエストがあったり、最後にはなぞなぞの時間があつたりと楽しい時間になっています。

ランランタイムでは、みんなで準備体操をした後に体育館やグラウンドを走ります。音楽にあわせてそれぞれのペースで走り続け、最後に走った距離を自分で記入して終了です。いっぱい汗をかくくらい毎回元気に体を動かしています。



運動会

「思うぞんぶん 歩く！走る！がんばるぞー！」

6月8日に開催された令和6年の運動会。なんと！今年から紅白のない運動会になりました。オリパライヤーということもあり、開会式は最上級生の金谷さんの聖火ランナーからスタート！ファイターズでおなじみのジンギスカンソングを歌いました。幼小小学部の「Kyokumotto(きょくもっと)べんとうをつくろう！」競技、中学部の「めざせ！ オリンピック」、子どもたちの普段の取り組みが感じられる種目でした。そして、PTA 種目の玉入れ、全校ダンスでは、会場の皆さん、一緒になって盛り上がりました。最後には恒例となった集合写真！旭川盲学校らしい笑顔たくさんの運動会になりました。準備から、当日の取り組みと、関わって頂いた皆様に感謝いたします。

さて、思うぞんぶん、歩く！走る！のテーマは、9月の文体連へと続きます。小学5年生と中学部の皆さんが頑張ります！引き続き応援をよろしくお願い致します。



主な相談窓口（北海道）①

（令和6年4月）

名称	所管等	電話番号	受付	概要
子ども相談支援センター （24時間子供SOSダイヤル） （メール相談）	北海道教育委員会 （文部科学省）	0120-3882-56 (0120-0-78310)	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会		令和6年5月20日 令和7年3月24日 までの月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/13 毎日17:00～22:00 8/7～9/18 毎日17:00～22:00 1/8～1/31 毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル「189」	北海道保健福祉部 （厚生労働省）	189 （いちはやく）	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 （厚生労働省）		平日9:00～17:00	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
子どもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドラインほっかいどう	認定NPO法人 チャイルドライン支援センター	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道）②

名称	所管等	電話番号	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00	様々な悩みを相談できます。
北海道こころの健康SNS相談	北海道保健福祉部		平日、土曜日 18:00～22:00 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 (SACRACH さくらこ)	北海道、札幌市	050-3786-0799 または #8891 sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp	平日10:00～20:00 (土日祝祭日、12/29～1/3除く)	子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。
北海道ヤングケアラー相談サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086（電話） hokkaido.young.carer2022@gmail.com 080-9612-1247（SMS専用） facebook.com/hokkaido.young.support（Facebook） @youngcarer2022（X 旧:Twitter）	開設時間 平日 8:45～17:30	ヤングケアラーに関する相談ができます。